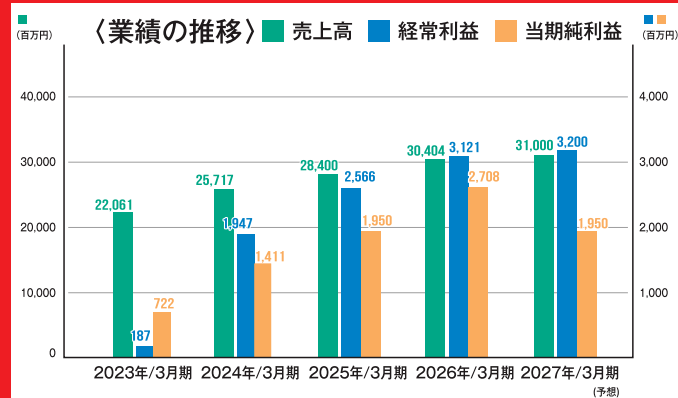


投資先を探しているアナタへ! 安定成長を続ける企業特集

DATA

注:データは2026年6月12日時点



株価 **6,850円** 配当利回り **1.75%**
(今期予想)

POINT

好調なホテル・ゴルフ運営事業が寄与し、26年3月期の連結決算では売上高と各利益において前期比増となった。株主優待の拡充によって同社グループのホテルやゴルフ場で利用できる「RESOL ファミリー商品券」が最大2.5倍に。100株以上300株未満で2万円分/年、300株以上500株未満で6万円分、500株以上で10万円分が贈呈されることから、500株以上を保有するファン株主も増加し株価も順調に上昇している。旅費や宿泊費も上昇している今だからこそ、優待商品券を活用して「リゾートステイ」を満喫するのは賢い選択かもしれない。26年3月期の配当は110円、27年3月期には120円を予定。安定業績を背景に、今後も継続的な増配が期待できる。

ウェルビーイング事業は 新たな領域で事業展開

企業における人的資本経営や多様な働き方が広がる中、包括的なウェルビーイング領域での幅広い事業展開を目指すため、同社は26年3月期第2四半期決算より「福利厚生事業」のセグメント名称を「ウェルビーイング事業」と変更した。今後の事業展開の要となるのが「ハウスエージェンツ化」と「OEM戦略」だ。大規模な企業や組織に専属的に寄り添う「ハウスエージェンツ化」では、すでに三井不動産グループや70万人規模の関東ITソフトウェア健康保険組合等、大規模組織との間で成功。さらに、「OEM戦略」として、パートナー企業と連携してリソライフサポートが黒子となりウェルビーイング領域におけるサービスを提供していくようだ。「これは単なる言葉の置き

訪れるたび新しい発見 があるリゾートへ

グループのランドマーク施設である「Spot & Do Resort リソルの森」(千葉県)は、都心から約60分という好立地でありながら、約330万平方メートルもの広大な敷地を有し、ホテルやグランピング施設、ドッ

グヴィラ等の宿泊施設をはじめ、ゴルフ場や温浴施設、スポーツ施設、クリニックなどを完備。「訪れるたびに新しい発見があるリゾート」と謳われるとおり常に進化を続けており、2026年には新たな研修施設「ハーモニーエリア」も新設予定だという。エリア内の飲食や物販売上、愛犬同伴型高級ヴィラの高単価・高稼働維持、研修需要の増加等によって売上高も順調に推移。



リソルの森内 ラクレマンプール

ハイグレード貸別荘で 富裕層の獲得狙う

もうひとつ、本誌が注目しているのが軽井沢や箱根、伊豆エリアを中心に70施設以上を展開する滞在型貸別荘事業「リソルステイ」だ。中長期滞在ニーズに対応するラインアップの拡充によって、予約件数・宿泊日数・会員数のいずれも前年を大きく上回り、売上も伸長。単なる宿泊施設ではなく、長期滞在を通じた「別荘での生活」を提案するリソルステイ



ホテルリソルトリニティ京都 ロビーでのイベントの様子

「あなたのオフを、もっとスマイルに。」をコーポレートスローガンに掲げるリソルホールディングス株式会社。ホテル・ゴルフ場・リゾート等の施設運営を主軸に、ウェルビーイングやソリューションビジネスの領域においても独自のビジネスモデルで多角的な事業展開をみせる。



瀬戸内ゴルフリゾート

国内外の需要を掴んで 26年3月期増収増益

26年3月期連結決算は売上高約304億円(前期比7・1%増)、営業利益約33億円(同23・2%増)、経常利益約31・2億円(同21・6%増)で着地。親会社株主に帰属する当期純利益は27・08億円(同38・9%増)となった。旺盛なインバウンド需要を捉えたホテル運営事業をはじめ、滞在型貸別荘事業「リソルステイ」や会員権販売が好調なゴルフ運営事業、ウェルビーイング事業等も堅調に推移。「コト消費(宿泊・飲食・体験)」を求める昨今の消費者ニーズを掴むマーケティング施策やプラン造成が好影響となった。懸念される中東情勢や中国からの訪日需要の変動に関しても、現時点での影響は限定的。インバウンド集中型ではなく、安定的な国内旅行やゴルフ消費、さらには企業や団体からの研修需要までを捉えているのも同社の競争優位性だと言えるだろう。では、良好な経営環境の中で次なる成長戦略をどう描くのか。セグメント別の業績と今後の展望について掘り下げていこう。

ホテル運営は2桁増益 フアンドビジネス検討

ホテルの主力ブランド「リソルホテルズ」では、コンシェルジュサービスや日本文化体験イベントの拡充等、ツーリストホテルとしての独自性と強みを生かしたブランド構築を一層強化。サービスと品質の向上が客室単価・稼働率の上昇に結びつき、売上高・利益ともに2桁増となった。今後は社会情勢等も比較考慮したう

東プ・5261

リソルホールディングス

優待拡充&2期連続最高益で増配 施設×ウェルビーイングの革新性

好調なホテル運営事業・安定的なゴルフ運営事業が寄与し、26年3月期も増収増益。時価総額が順調に推移する中での新戦略とは。代表・大澤氏が語る、次なるステージ。

代表取締役社長
大澤 勝氏

えで、事業拡大にかかる新たな試みとしてフアンドビジネスを用いた施設展開も検討していく予定だ。

同じく「売上の柱」であるゴルフ運営事業では、昨年一部コースに導入したクーラーカーの台数を大幅に増車予定(中京・真名・入間等の主力コースは全台導入)。プレー中の快適性と安全性の向上はもちろん、オフピーク時の稼働率底上げと収益率向上も期待できる。あわせて、ゴルフコースに隣接する「フェアウェイフロントヴィラ」の新たな展開として、「瀬戸内ゴルフリゾート(第二期)」、富士山を一望できる「大熱海国際ゴルフクラブ」の開発も推進。空港送迎やクラブバスの運行等、観光を目的とするツーリスト層へのサービスも整え、海外提携を通じた相互送客を目指す。

CHECK!

3つのPOINT!

- 1 物価高の今こそ優待旅行
自社商品券最大10万円
- 2 施設×福利厚生の観点で
ウェルビーイングを実現
- 3 計画を上回る増収増益
連続増配で120円予想

企業DATA

あなたのオフを、もっとスマイルに。

RESOL
リソルグループリソルホールディングス
株式会社東京都新宿区
西新宿6-24-1
西新宿
三井ビルディング
12F

スイートヴィラ 忍野Mt.FUJI

イは「人生に彩りを与える余暇の過ごし方」として注目を集めている。今後はハイグレード戦略によって、消費意欲の強いシニア層を中心に富裕層の取り込みを狙う。前述したコーポレートスローガンを象徴する場としての、加速度的な事業拡大に期待したい。

「目指すのは、価格だけで判断されるのではなく、サービスの質と提供価値によって選ばれる企業グループ。コストプッシュ型インフレにより価格上昇が避けられない時代だからこそ、顧客とのすべての接点において品質を高めることが重要になる」。時価総額が順調に増える中で、次なるステージへの漸進を見据える大澤氏。力強い成長軌道に乗るインバウンドとウェルビーイング志向の高まりを追い風に、「質」と「価値」で選ばれ続ける企業へと発展を遂げる。